令和５年度事業計画書・収支予算書

公益社団法人近畿海事広報協会

令和５年度事業計画書

公益社団法人 近畿海事広報協会

当協会の目的「近畿地区において、海の恩恵を始めとする海事思想の普及宣伝を行い、もって一般国民の海事に関する知識の啓発を図り、あわせて海事産業の発展を期することにより、平和を希求する海洋国家日本の経済社会の維持発展と国民生活の安定向上に寄与する」の達成を目指し、次のとおり事業を実施します。

令和５年度の事業は、公益目的事業として、船との出会い事業「海の教室」、「海の日」・「海の月間」関連行事広報、「海の日」表彰候補者の推薦と「海の日」表彰式・祝賀会、中学生海の絵画コンクール、中学生海の作文コンクール、海の写真コンクール、海事知識の啓発事業を、近畿運輸局・（公財）日本海事広報協会・（一財）日本モーターボート競走会をはじめとする関係機関と連携し実施するほか、その他事業（相互扶助等事業）として、海事関係団体と連携し各種行事の共催・協賛・後援等を行なうとともに、海事知識啓発資料や海事広報宣伝物の配布など海事広報活動を行います。

Ⅰ、公益目的事業

１、　体験活動等（公益目的事業の事業区分４）

（１）船との出会い事業「海の教室」

四面環海で海からの恵みを受け、国民生活の基盤を海外との貿易・海上輸送に依存している我が国では、海運・造船・舶用工業・港湾・物流などの海事産業の果たすべき役割が極めて重要であり、青少年や一般市民のみなさんに海事産業の重要性を理解してもらい、海に対する関心を高めてもらうことが不可欠です。

特に若い世代の海への理解を深めるとともに、教育現場の理解を得るため、(公財)日本海事広報協会からの受託事業「船との出会い事業」と連携し、「海の教室」を近畿運輸局との共催事業として開催します。当事業は、「(公財)日本海事センター補助事業」の助成金・補助金を受け、関係団体・事業者・学校・教育委員会などの協力を得て、各種船舶の乗船体験会、船舶・港湾・造船所・倉庫・海洋博物館など海事産業関連施設の見学会を行う体験型学習会であり、「(公財)日本海事広報協会及び(公社)各地方海事広報協会主催等のイベントにおける新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」の対策を実施して行なうものです。

また、デジタル・オンラインを活用した出前授業等に取り組みます。

２、　海の日キャンペーン、海の月間（公益目的事業の事業区分８）

（１）「海の日」・「海の月間」関連行事広報

(公財)日本海事広報協会からの受託事業である「海の日」・「海の月間」関連行事広報事業と連携し、青少年をはじめ広く一般市民の海事に対する関心を高め、海や

海事産業等の重要性を認識してもらうことを目的に、各種広報事業の効果的な推進を図ります。

海事思想普及のため、国土交通省の主唱の下、各地で実施される「海の日」・「海の月間」に関する施策に参加するとともに、国民の祝日「海の日」（海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日）の意義を理解してもらうための広報活動を積極的に展開します。

（２）「海の日」表彰候補者の推薦と「海の日」表彰式・祝賀会

令和５年「海の日」を迎えるにあたり、近畿運輸局・運輸支局・海事事務所の所在地において海事関係功労者表彰式が行われます。当協会は、「海の日」キャンペーンの一つとして、「海の日」における表彰候補者の推薦について広く一般に周知するとともに、「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」と、海事関係事業の従事者として永年勤続された方々の「海事関係功労者表彰」の候補者を推薦します。

また、新型コロナウイルス感染症の動向に配慮しながら、近畿運輸局並びに大阪海上保安監部の主催による「海事関係功労者表彰式典」の開催に協力するとともに、「中学生海の絵画コンクール」・「海の写真コンクール」の近畿運輸局長賞・大阪海上保安監部長賞・大阪府知事賞・大阪市長賞について表彰式を共催します。

「海の日」祝賀会は、受賞者やご家族・一般市民（受賞者の知人等）・行政・報道・海事・物流関係の皆さまとともに「海の日」を祝い、海からの恵と、そこで仕事に精出す人々に感謝し海事産業の重要性を再認識するとともに、「海の日」の意義が広く一般市民に理解され定着していくことを目指した表彰式典と一連の行事としての海事広報活動です。海事関係・物流関係団体の協賛をいただき、当協会の主催により開催いたしますが、今年度の開催についても、新型コロナウイルス感染症の動向に配慮しながら、開催の可否を判断いたします。

３、　表彰、コンクール（公益目的事業の事業区分１４）

（１）第60回中学生海の絵画コンクール

わが国は、海からの恵みを受け、国民生活の安定向上と産業活動の維持発展の基盤を、海外貿易と海上輸送に依存する四面環海の国であり、海運・造船・舶用工業・港湾・物流などの海事産業の働きは極めて重要です。

このため、次代を担う近畿各地の中学生のみなさんから「海の絵画」を募集することによって、海事に関する関心を高めるとともに、海事知識の啓発に寄与することを目的に、近畿運輸局、大阪海上保安監部、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、(株)日本海事新聞社の後援をいただき「中学生海の絵画コンクール」を開催します。

応募作品の審査は審査会を開催し受賞作品40点を選び表彰します。また、全ての受賞作品を当協会機関紙「近畿海事広報協会たより」とホームページ・フェイスブックに掲載します。

併せて、(一財)サークルクラブ協会・(公社)日本海洋少年団連盟主催の全国絵画コンクールである、第51回絵画コンクール「我ら海の子展」中学生の部に、全ての応募

作品を団体として応募します。

（２）第 57 回中学生海の作文コンクール

中学生海の絵画コンクールと同様に、近畿各地の中学生のみなさんから「海の作文」を募集することによって、海事に関する関心を高めるとともに、海事知識の啓発に寄与するため、近畿運輸局、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、（株）日本海事新聞社の後援をいただき、海運・造船・港湾といった範囲にとどまらず、広く海にかかわるものを題材とする「海の作文」を募集し、大阪文学学校の講師を審査員とし受賞作品 40 点を選び表彰します。

また、上位受賞作品 10 点については当協会機関紙「近畿海事広報協会たより」に掲載するとともに、全ての受賞作品を当協会のホームページ・フェイスブックに掲載します。

（３）第 45 回海の写真コンクール

「海の日」・「海の月間」関連行事の一つとして、海運・造船・舶用工業・港湾・物流などの海事産業への関心を深め、海事知識の啓発・向上を図るため、海・船・港・湖・川・魚など広く海に関係するテーマの写真を、地域・年齢などは問わず全国から募集します。

このため、近畿運輸局、大阪海上保安監部、大阪府、大阪市、大阪商工会議所、(公財)関西・大阪 21 世紀協会、(株)海遊館、(一社)日本長距離フェリー協会、(一社)日本海事代理士会、(株)日本海事新聞社、(株)海事プレス社の後援を得て、(公財)海上保安協会大阪支部、(一社)大阪府港湾協会、(公社)大阪港振興協会、大阪写真組合、近畿旅客船協会の協賛を得るとともに、フェリー・旅客船の各船社にご協力いただき、審査会を開催し受賞作品 40 点を選び表彰します。

また、全ての受賞作品を当協会の機関紙「近畿海事広報協会たより」とホームページ・フェイスブックに掲載するとともに、(一財)日本モーターボート競走会から受託する事業として、ボートレース場・ボートピアにおいて「第 45 回海の写真コンクール受賞作品展」を開催します。

４、　上記の事業区分に該当しない公益事業（公益目的事業の事業区分１８）

（１）海事知識の啓発・普及事業

(一財)日本モーターボート競走会から受託する事業と連携し、海事知識の啓発・向上を図るため、ボートレース場等で行なわれている各種イベント会場や「海の日」・「海の月間」関連行事などを活用して、小中学生を中心とした児童向けの海事知識普及のための資料や海の日グッズの配布などを行なうことにより、海事知識の啓発・普及事業を行います。

Ⅱ、その他事業（相互扶助等の事業）

１、他団体との連携事業と海事広報宣伝物等の発行・配布

海事関係の各種団体と積極的に連携し、次の行事の共催・協賛・後援等を新型コロナウイルス感染症の動向に配慮しながら実施します。

イ　各地区の海事関係団体が実施する「海の日」・「海の月間」行事
ロ　みなと祭り等の各港湾における行事
ハ　海の日・新年・海上安全祈願祭
ニ　その他の海事広報活動

また、会員の皆様と関係者に対し「近畿海事広報協会たより」・「世界の帆船カレンダー」を作成・配布するとともに、(公財)日本海事広報協会をはじめとする海事関係団体等で作成されたパンフレットなど海事知識普及資料の配布を行います。

令和5年度収支予算書

公益社団法人 近畿海事広報協会

（1） 収支（損益）予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備　　考
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
1．経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	**450**	**450**	**0**	
特定資産受取利息	450	450	0	
受取会費	**8,360,000**	**8,450,000**	**−90,000**	
普通会員	8,110,000	8,200,000	−90,000	口数15減、6増
その他の会員	250,000	250,000	0	特別会員・賛助会員
事業収益	**6,170,000**	**5,983,000**	**187,000**	
受託事業収益	4,550,000	4,363,000	187,000	日本海事広報協会 日本モーターボート競走会
協賛金収益	1,620,000	1,620,000	0	海の日祝賀会・写真コンクール等
受取負担金	**0**	**50,000**	**−50,000**	
受取負担金	0	50,000	−50,000	
雑収益	**40,050**	**43,550**	**−3,500**	
受取利息	50	50	0	
雑収益	40,000	43,500	−3,500	日本海事広報協会等
経常収益計	**14,570,500**	**14,527,000**	**43,500**	
(2) 経常費用				
事業費	**12,359,000**	**12,346,000**	**13,000**	
制作費	100,000	133,000	−33,000	海の月間広報等
イベント開催費	1,290,000	1,390,000	−100,000	海の月間等
広報宣伝物費	930,000	1,080,000	−150,000	海事広報資料作成等
表彰費	387,000	370,000	17,000	各種コンクール
給料手当	2,800,000	2,800,000	0	管理費と按分
給料手当（事務局嘱託料）	1,320,000	1,200,000	120,000	船との出会い事業
臨時雇賃金	957,000	838,000	119,000	パート職員・アルバイト
福利厚生費	520,000	592,000	−72,000	社会保険料等
会議費	67,000	25,000	42,000	実行委員会・審査会等
旅費交通費	215,000	357,000	−142,000	通勤費を含む
通信運搬費	650,000	625,000	25,000	
消耗品費	315,000	280,000	35,000	
印刷製本費	610,000	750,000	−140,000	
賃借料	1,082,000	772,000	310,000	船・バス・借室料等
事務管理費（賃貸料）	680,000	685,000	−5,000	借室料等
保険料	40,000	43,000	−3,000	乗船体験会・見学会
諸謝金	220,000	210,000	10,000	審査員・講師
支払負担金	40,000	40,000	0	他団体との共催事業
支払助成金	80,000	80,000	0	海の月間行事等
雑費	56,000	76,000	−20,000	振込手数料等

科　　目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備　　考
管理費	2,138,000	2,181,000	-43,000	
給料手当	700,000	700,000	0	事業費と按分
臨時雇賃金	300,000	300,000	0	パート職員
福利厚生費	130,000	148,000	-18,000	社会保険料等
会議費	300,000	300,000	0	総会・理事会等
旅費交通費	40,000	80,000	-40,000	通勤費を含む
通信運搬費	180,000	180,000	0	
消耗品費	70,000	60,000	10,000	
印刷製本費	100,000	100,000	0	
賃借料	138,000	133,000	5,000	借室料・共益費・コピー機等
支払負担金	130,000	130,000	0	関係団体会費等
雑費	50,000	50,000	0	払込料金等
経常費用計	14,497,000	14,527,000	-30,000	
当期経常増減額	73,500	0	73,500	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計				
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計				
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	73,500	0	73,500	
一般正味財産期首残高	8,500,000	8,500,000	0	
一般正味財産期末残高	8,573,500	8,500,000	73,500	
Ⅱ　指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
Ⅲ　正味財産期末残高	8,573,500	8,500,000	73,500	

（注）　1、収支予算書は公益法人会計基準の範囲から除かれているが、公益社団法人については、作成及び保存が義務付けられており、損益計算ベースで作成する必要がある。

(2) 収支(損益)予算書内訳表

公益社団法人 近畿海事広報協会

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科　目	公益目的事業会計									相互扶助等事業会計			法人会計	合　計
	海の教室	海の月間	海の表彰	海の絵画	海の作文	海の写真	海事知識	公・共通	小　計	団体連携	他・共通	小　計		
Ⅰ　一般正味財産増減の部														
1. 経常増減の部														
(1) 経常収益														
特定資産運用益								450	450			0	0	450
特定資産受取利息								450	450			0		450
受取会費								4,305,000	4,305,000		1,216,500	1,216,500	2,838,500	8,360,000
普通会員								4,055,000	4,055,000		1,216,500	1,216,500	2,838,500	8,110,000
その他の会員								250,000	250,000			0		250,000
事業収益	2,000,000	200,000	1,500,000	0	0	1,270,000	1,200,000	0	6,170,000	0	0	0	0	6,170,000
受託事業収益	2,000,000	200,000				1,150,000	1,200,000		4,550,000			0		4,550,000
協賛金収益			1,500,000			120,000			1,620,000			0		1,620,000
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0								0			0		0
雑収益								50	50	0	40,000	40,000	0	40,050
受取利息								50	50			0		50
雑収益									0	0	40,000	40,000		40,000
経常収益計	2,000,000	200,000	1,500,000	0	0	1,270,000	1,200,000	4,305,500	10,475,500	0	1,256,500	1,256,500	2,838,500	14,570,500
(2) 経常費用														
事業費	2,000,000	200,000	1,500,000	468,000	401,000	1,201,000	1,200,000	4,422,000	11,392,000	616,000	351,000	967,000		12,359,000
制作費		100,000							100,000			0		100,000
イベント開催費			1,250,000						1,250,000	40,000		40,000		1,290,000
広報宣伝物費							800,000		800,000	130,000		130,000		930,000
表彰費				67,000	70,000	250,000			387,000			0		387,000
給料手当								2,800,000	2,800,000			0		2,800,000
給料手当(事務局嘱託料)	1,320,000								1,320,000			0		1,320,000
臨時雇賃金・講師謝金	50,000	20,000	27,000	180,000	130,000	280,000		100,000	787,000	170,000		170,000		957,000
福利厚生費								520,000	520,000			0		520,000
会議費	20,000	10,000	2,000	10,000		15,000	10,000		67,000			0		67,000
旅費交通費		10,000	10,000			10,000	20,000	160,000	210,000	5,000		5,000		215,000
通信運搬費	40,000	20,000	30,000	70,000	50,000	200,000	40,000		450,000	150,000	50,000	200,000		650,000
消耗品費			10,000		15,000	10,000		280,000	315,000			0		315,000
印刷製本費	30,000	20,000	30,000	70,000	75,000	85,000			310,000		300,000	300,000		610,000
賃借料	430,000		100,000					552,000	1,082,000			0		1,082,000
事務管理費(賃借料)	60,000	20,000				300,000	300,000		680,000			0		680,000
保険料	40,000								40,000			0		40,000
諸謝金			40,000	70,000	60,000	50,000			220,000			0		220,000
支払負担金									0	40,000		40,000		40,000

科　目	公益目的事業会計									相互扶助等事業会計			法人会計	合　計
	海の教室	海の月間	海の表彰	海の絵画	海の作文	海の写真	海事知識	公・共通	小　計	団体連携	他・共通	小　計		
支払助成金									0	80,000		80,000		80,000
雑費	10,000	0	1,000	1,000	1,000	1,000	30,000	10,000	54,000	1,000	1,000	2,000		56,000
管理費													2,138,000	2,138,000
給料手当													700,000	700,000
臨時雇賃金													300,000	300,000
福利厚生費													130,000	130,000
会議費													300,000	300,000
旅費交通費													40,000	40,000
通信運搬費													180,000	180,000
消耗品費													70,000	70,000
印刷製本費													100,000	100,000
賃借料													138,000	138,000
支払負担金													130,000	130,000
雑費													50,000	50,000
経常費用計	2,000,000	200,000	1,500,000	468,000	401,000	1,201,000	1,200,000	4,422,000	11,392,000	616,000	351,000	967,000	2,138,000	14,497,000
当期経常増減額	0	0	0	−468,000	−401,000	69,000	0	−116,500	−916,500	−616,000	905,500	289,500	700,500	73,500
2. 経常外増減の部														
(1) 経常外収益														
経常外収益計														
(2) 経常外費用														
経常外費用計														
当期経常外増減額														
他会計振替額								144,750	144,750		−144,750	−144,750		0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	−468,000	−401,000	69,000	0	28,250	−771,750	−616,000	760,750	144,750	700,500	73,500
一般正味財産期首残高														8,500,000
一般正味財産期末残高														8,573,500
Ⅱ　指定正味財産増減の部														
当期指定正味財産増減額														
指定正味財産期首残高														
指定正味財産期末残高														
Ⅲ　正味財産期末残高														8,573,500

（注）　1、経常収益のうち、受取会費（普通会員）は、公益目的事業会計に50%、相互扶助等事業会計に15%、法人会計に35%を按分している。
　　2、管理費のうち、給料手当・福利厚生費・旅費交通費・消耗品費・賃借料の80%を公益目的事業会計に按分している。
　　3、他会計振替額は、相互扶助等事業会計・当期経常増減額（増額の場合のみ）の50%を公益目的事業会計に振り替えている。